

クリーン四国

No.1237
2023年
4月号



治山・林道工事コンクール表彰を行う

【詳細は2頁】

令和5年度 新規採用者

目次

・ 治山・林道工事コンクール表彰を行う	2
・ 入庁式	4
・ 各署等のたより	5
・ 年間行事等掲載予定	9
・ 新任者略歴紹介	10



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
H P <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

治山・林道工事コンクール表彰を行う

〈局 治山課〉
〈局 森林整備課〉

令和5年3月7日、四国森林管理局において、令和4年度治山・林道工事コンクールの表彰式を行いました。令和3年度に完成した工事を対象に、4つのテーマ（コスト縮減、技術提案、環境配慮、施工管理）で審査を行い、事業の効果が顕著であり、内容が良好で他の模範となると認められる工事で、特に優秀なものを林野庁へ推薦し、4件（治山工事2件、林道工事2件）が林野庁長官賞を受賞されました。また10件（治山工事5件、林道工事5件）が、四国森林管理局長賞を受賞されました。

林野庁長官賞の表彰式は、2月16日に林野庁において行われ、3年振りの開催となりました。

受賞された皆様の功績をたたえ、長年のためめ努力に敬意を表するとともに引き続き、本コンクールの趣旨に則り、より一層優良で模範と

なる工事を期待する次第です。受賞者は次のとおりです。



受賞された皆様

◆林野庁長官賞（敬称略）

○宝蔵山（2120）復旧治山工事

《安芸森林管理署発注》

魚梁瀬産業有限公司

代表取締役 五百藏 浩二

○雁巻山（2031）復旧治山工事

《安芸森林管理署発注》

湯浅建設株式会社

代表取締役社長 湯浅 雅喜

○掃地山林道改良工事

《四万十森林管理署発注》

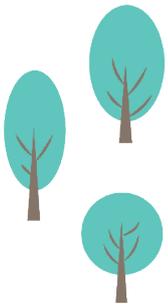
株式会社ダイリン

代表取締役 有田 将也

○亀谷林道災害復旧工事

魚梁瀬産業有限公司

代表取締役 五百藏 浩二



◆四国森林管理局長賞（敬称略）
【工事表彰】



表彰式の模様

○祖谷川地区麦生土（上）地すべり防止工事

《徳島森林管理署発注》

株式会社山全

代表取締役 牛尾 正治

○笹郷山（2015）復旧治山工事

《愛媛森林管理署発注》

一若建設株式会社

代表取締役 中畑 健右

○伊豆ヶ谷山（2053）復旧治山工事

《四万十森林管理署発注》

有限会社十和建設

代表取締役 松下 充宏

○大森山（1202）復旧治山工事

《四万十森林管理署発注》

株式会社大塚建設工業所

代表取締役 大塚 敦士

○麦生土（23）復旧治山工事

《高知中部森林管理署発注》

片田丸吉建設工業株式会社

代表取締役 山崎 秀治

○祖谷山林道笹谷線改良工事

《徳島森林管理署発注》

有限会社上西組

代表取締役 上西 光男

○一の谷林道改良工事

《四万十森林管理署発注》

株式会社井原組

代表取締役 井原 貴仁

○玖木山林道災害復旧工事

《四万十森林管理署発注》

有限会社黒尊建設

代表取締役 石川 香里

○長滝林業専用道新設工事

《安芸云森林管理署発注》

竹崎・藤原経常建設共同企業体

代表者 福吉 博幸

○雁巻林道災害復旧工事

《安芸云森林管理署発注》

湯浅建設株式会社

代表取締役社長 湯浅 雅喜

【技術者表彰】

○宝蔵山（2120）復旧治山工事

現場代理人

主任技術者 森田 武

（魚梁瀬産業有限公司）

監督職員 川口 慎弥

（安芸云森林管理署）

○雁巻山（2031）復旧治山工事

現場代理人 山崎 和幸

主任技術者 坂本 誠

（湯浅建設株式会社）

監督職員 川口 慎弥

（安芸云森林管理署）

○掃地山林道改良工事

現場代理人

主任技術者 林 章弘

（株式会社 ダイリン）

監督職員 東野 信幸

（四国森林管理局）

○亀谷林道災害復旧工事

現場代理人 五百藏 文太

主任技術者 渡辺 直樹

（魚梁瀬産業有限公司）

監督職員 西山 秀男

（安芸云森林管理署）

四国森林管理局では、今後とも、国民の要請にこたえる適切な森林の整備・管理を推進していく上で、工事施工者とも連携し、適切な施工管理、コスト縮減、環境への配慮、創意工夫を行い、公共事業の品質向上に努めてまいります。



林野庁長官賞受賞工事（雁巻山（2031）復旧治山工事）



林野庁長官賞受賞工事（宝蔵山（2120）復旧治山工事）



林野庁長官賞受賞工事（亀谷林道災害復旧工事）



林野庁長官賞受賞工事（掃地山林道改良工事）

入庁式

〈局総務課〉

4月3日、令和5年度四国森林管理局新規採用者14名の入庁式を局議室において行いました。

遠藤順也四国森林管理局長から、新規採用者に辞令が手渡され、入庁者を代表して嶺北森林管理署に配属となった池森加奈恵さんが宣誓を行いました。



局長からは、入庁式に出席した14名に、「入庁おめでとうございませう。新しい職場でこれから携わっていく仕事について、夢や希望を抱いている一方、不安や緊張も感じているこ

とと思います。

国有林として期待されていることは、木材の安定供給、技術開発、民有林サイドも含めた人材育成を行っていくことにより、我が国の林業・木材産業を持続可能とし、更に成長産業化させることで、山村地域の活性化に貢献することです。

また森林は、手入れをしていかなければ、国土保全機能や水源かん養機能などの多面的機能を十分に発揮できず、山崩れなど山地災害を発生させてしまうこともあります。私たちは国有林をしっかりと整備・管理し、また、民有林を含めた治山事業の実施などにより森林を守ること、国民が安全安心で豊かな生活ができるよう支えていかなければなりません。

こうした大きな使命を常に念頭に置いて仕事に邁進してください。

また、国民全体の奉仕者である国家公務員であり、国民からの厳しい目が常に注がれていることを忘れず、公務員としてのルールを守ることも重要です。

先輩職員が対処法や妙案を提示してくれますので、仕事で分からないこと、困ったことがあったら、一人では悩まず相談してください。また

若い感性を存分に発揮して、先輩職員を刺激してください。

今日から、国有林を担っていく職員として、誇りと意欲を持って頑張ってくださいたいと思います。」と訓示がありました。

これから、林野庁の職員として配属された部署で、勤務することになりますので、皆様よろしくお願います。

入庁おめでとうございませう。

表紙写真前列右側から

日野壮一郎さん (愛媛署)

多賀 翔映さん (四万十署)

小原 英明さん (高知中部署)

猪野このみさん (森林整備課)

池森加奈恵さん (嶺北署)

遠藤 順也局長

河野 橘平さん (愛媛署)

小林 風賀さん (安芸署)

園島 敏弘さん (徳島署)

村上 烈士さん (安芸署)

山内 爽平さん (四万十署)

後列右側から

増原 俊光総務課長

田之島 博明総務企画部長

中越 薫さん (経理課)

井上 琢也さん (保全課)

服部 佐和さん (治山課)

前田 悠介さん (総務課)

島内 厚実業務管理官

近藤 匡計画保全部長



間伐実施状況の説明

2月27日、香川森林管理事務所管内の檜原国有林44林班において、現地検討会『さぬきの山』列状間伐の実施と林況』を開催しました。香川県や市町、森林組合などから約20名、四国森林管理局から資源活用課の企画官をはじめ4名、当所から7名が参加しました。

さぬきの山で 現地検討会を開催

〈香川森林管理事務所〉



間伐後1年目箇所での林況説明

今回の現地検討会は、列状間伐の推進を図ることを目的に開催したもので、列状間伐実施後1年、4年、12年が経過した間伐箇所を実際に見ていただきました。



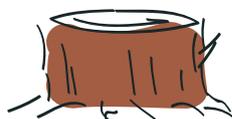
活発なご意見ありがとうございます

はじめに、香川所長の挨拶があり、当所管内での列状間伐の実施状況や列状間伐のメリット等を説明しました。その後、間伐実施後1年が経過した現地に向かい、林況を確認しながら、事業概要、列状間伐をする上で生産性を向上させるための取組事例についての説明を行いました。参加者は、現地で実際に林況を見ることで、列状間伐のイメージをつかんで頂けたよう、事業の発注方法や伐採列の取り方等、様々な質問がありました。続いて、間伐実施後4年が経過した箇所に移動し、林況等の説明を行い、樹冠や下層植生が、1年目と比べて変化してきた様子を見て頂きました。最後に、資料を用いて間伐実施後12年が経過した箇所を説明し、質疑応



間伐後4年目の箇所での林況説明

答を行いました。質疑応答では、森林作業道や高性能林業機械を使った作業システムに関する質問など、列状間伐だけでなく、事業全般についての質問もありました。



この現地検討会を通して、参加者からは、是非今後は列状間伐を実施し推進していきたいという声を多数頂きました。今回の経験や意見等を参考に、当所では今後も各種現地検討会の開催に取り組んで参りたいと考えています。



【楠瀬記者】

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました

国有林で高知県林業大学 校生が植付実習

〈高知中部森林管理署〉

2月28日、管内の国有林にて、高知県林業大学校基礎課程の学生18名を対象にした現地実習を行いました。四国森林管理局・高知中部森林管理署からも16名が参加し、総勢34名で行いました。

この実習は造林事業の一連の流れに沿って行っており、下刈（6月）・地替え（11月）に続いての実習で、今回はスギ裸苗300本の植付をメインに行いました。



当日は猪野々山国有林9林班へ集合した後、吉良康署長から「生産事業は高性能林業機械の活用等機械化が進んでいるが、造林事業はまだまだ人の手で作業していくことが主である。その造林事業を実際に経験し、感じることで今後に繋げて欲しい」と挨拶しました。



川村栄二野生鳥獣対策官から作業の流れや安全対策の説明をした後、4班のグループに分かれてシカ防護ネット内の植付方法、単木保護資材の設置について職員から説明を受け作業を開始しました。

単木保護資材の設置箇所は特に傾斜がきつく、石が多く点在する場所でしたが、学生は仕様書なども確認しながら支柱を立てたり、蛇腹式

チューブをかぶせるのに苦戦しつつも作業を丁寧に行っていました。

昼食後は、昨年度の実習で植付していた箇所の補植を行いました。ネット内はシカが入った影響で食害を多く受けており、当署職員が枝葉を食われた幼齢木を手に取り、補植の必要性を説明しました。

実習終了後、局技術普及課宮崎隆太企画官から「人の手で行うことが多い造林作業は人の心が入る。これからも丁寧な作業を心がけてほしい」と林業労働者育成の観点からお願いをして、実習を無事終えることができました。



モリの見学会 (in馬路)の開催

〈安芸森林管理署〉

3月16日、モリの見学会 (in馬路) を開催しました。

本見学会は、馬路村の林務担当職員と安芸森林管理署職員が、森林・林業の基礎に関する勉強や意見交換を行うことで、担当レベルで顔の見える関係をつくり、緊密かつ継続的に連携する体制を構築するきっかけを創出することを目的に行った取組で、馬路村の林務担当者1名のほか、署から若手職員を中心に10名が参加しました。

始めに、馬路森林事務所において自己紹介を兼ねたオリエンテーションを行い、その後、朝日出山国有林2201林班において治山工事(谷止工)実施箇所を、西谷山1011林班において保育間伐【活用型】実施箇所を見学しました。

治山工事実施箇所では、治山事業についての基礎、工事をするに至った経緯、そして工事の主な流れについて治山技術官(魚梁瀬治山事業所)から説明があり、「治山事業なのに造林的手段があるのはなぜか」「木製残存型枠を取り入れるとどれだけ金額が増えるのか」などといった様々な

質問がされました。



治山工事実施箇所の見学



保育間伐【活用型】実施箇所の見学

保育間伐【活用型】実施箇所では、搬出間伐についての基礎、列状間伐を取り入れることになった経緯などについて、地域統括森林官(魚梁瀬・

西川森林事務所)から説明があり、「列状間伐の伐採列幅は何メートルか」「一車両系集材と架線集材の見極めをどのように行っているか」などの質問がされました。



ドローン映像の説明

馬路森林事務所へ戻った後、森林官の多岐にわたる業務について森林官(馬路森林事務所)から説明を行った後、意見交換を実施しました。

参加者からは、「森林官が事業計画検討のために4〜5回も現地踏査を行うのには驚いた」「森林・林業の知識や経験が浅いまま業務を行ってきたので、こうした現場を見られる機会があるのは有難い」「今後もなんらかの形で継続してもらいたい」などの意見が出されました。



意見交換の様子

本見学会は当署において初めての取組でしたが、参加者同士が密に集まって講師の話聞き、質問する様子が印象的で、コロナ禍ではなかなかできなかった交流がようやく実現できたように感じました。そして、馬路村をはじめ多くの市町村では限られた職員数の中、多岐にわたる業務内容を担当しなければならぬ環境にあり、国有林側が保有している情報や技術、経験を自治体へ提供する機会が強く求められていることを改めて認識することができました。今後、こうした取組を通じて担当同士で情報交換しやすい関係を築き、流域全体の森林・林業の活性化に貢献してまいります。

高知県西部の小学校で 森林環境教育を実施

〈四万十川森林ふれあい推進センター〉

1月24日に四万十市立大用小学校の全校児童26名、1月31日に宿毛市立橋上小学校の全校児童11名、2月7日に四万十市立中村小学校の1年生41名、2月20日に、大月町立大月小学校の2年生18名、2月28日に黒潮町立上川口小学校の1〜4年生計32名、以上5校の128名を対象にした森林環境教育（森林・木工教室）を実施しました。



ふゆめがっしょうだんの絵本のお話の様子(大用小)

大用小と中村小では、自然を大切にする気持ちをもってもらうことを目的に絵本を使って樹木の冬芽が春

の芽吹きに備えて前の年から芽葉っぱと花の赤ちゃんを準備している様子を学習しました。

その後、樹木に関心を持つてもらうため、「庭にはいろいろな樹木があり、四季による変化や生息している虫などとそれを目的にいろいろな鳥がやって来るので、通学路や運動場から日々観察してみてください」と説明しました。



製作の様子(橋上小)

橋上小と上川口小では近畿中国森林管理局作成の「雨水のぼうけん」という教材を使い森林の保水力や水の浄化作用について勉強しました。

また、中村小と大月小では、地域での地球温暖化防止の取り組みを推進している高知県地球温暖化防止活

動推進グループの「うみのこども」と連携して実施しており、うみのこどもの村上さんから、森林が地球温暖化を防ぐためどんな働きをしているか、森林が呼吸の時に二酸化炭素を吸い酸素を出してくれる大事な働きがあることをお話しました。



うみのこども、村上さんのお話の様子(中村小)

続いて、それぞれの学校の希望で春の訪れを感じる題材の木エクラフト作りを実施しました。

作り方などの注意点を説明した後、製作見本を参考に、ヒノキの板を切り抜いたものにポスターカラーで自由に着色し、いろいろな材料で飾りつけて、ヒノキの角材の台座に貼り付けて完成させました。台座に貼り付ける以外にスギ板に貼り付けて立体的に見える壁掛けにした

り、スギ板に貼り付けた後、飾りを増やしたりといろいろなアレンジができるようにしました。

材料は形も下絵も全く同じものですが、児童の自由な発想で変化が加わり世界に一つだけの作品が次々と出来上がりました。



製作の様子(大月小)

上川口小3、4年生は、3年の図工の教科にクギを使った工作があることから、ノコギリ、トンカチ、クギを使用した工作ということで、ミズメの小径木などをノコギリで切断し、小箱を作る体験をしました。

「ハッピー小箱作り」と題して、私たちの生活に欠かせない木の中でも代表的なヒノキのムク板を、トンカチで釘打ちして小箱を完成させ

るキットを当センターで準備しました。ヒノキの匂いや手に取って優しい手触りを感じてもらってから作り方や注意点を説明し、小箱作りを行いました。



ノコギリ挽き体験の様子（上川口小）

小箱の枅の形が出来たところで貼り付けた接着剤が乾くのを待つ間に、切断した輪切りの森のかげらを木のキーホルダーなどにしました。

小箱の接着剤が乾いたところで、ネコの肉球部分を模した上蓋を、固定するかそのままのせて使うかを選んで、各自「ハッピー小箱」を完成させました。

実施後には教職員アンケートや児童から感想文を送付いただきました。その中には、「子ども達がつっても楽しかったと喜んで、作った作品

をお家の人に見せたい、ひな祭りに飾りたいと取って帰りました」との感想がありました。

森林環境教育を通して木を使って作る楽しみや作品が今後も各家庭で飾られることで、木材に親しみを感じ、自然と木材ってすごく良いねと思うていただきたいと思います。

当センターでは、今後もこのような森林環境教育の出前講座を通して、森林への理解や木工工作・クラフト作りを通じた木育への取組を展開していきます。



作品完成したよ

年間行事予定

令和5年度に四国森林管理局管内で予定している行事の一覧です。令和5年4月現在の予定です。

行 事 名	担当部署	予 定 時 期
春期「緑の募金」	局技術普及課	街頭募金(4月16日) 募金期間(5月末まで)
梶原令和の森林づくり(植樹祭)	四万十森林管理署	5月中旬
三嶺の森の再生を目指したボランティア活動	高知中部森林管理署	6月中旬
国有林モニター勉強会(第3回)	局企画調整課	6月中旬
災害時情報収集演習	徳島森林管理署	6月下旬
石鎚山お山開き	愛媛森林管理署	7月初旬
シラクチカズラの植樹祭	徳島森林管理署	7月頃
秋期「緑の募金」	局技術普及課	9月1日から10月31日
久万林業まつり	愛媛森林管理署	10月中旬
もくもくエコランド2023	局技術普及課	10月下旬
国有林モニター勉強会(第4回)	局企画調整課	11月中旬
山もりフェス	四万十森林管理署	11月中旬
治山事業におけるICT施行技術検討会	安芸森林管理署	11月中旬
国有林モニター募集	局企画調整課	1月頃
四国森林・林業研究発表会	局技術普及課	1月中旬
国有林モニター会議	局企画調整課	2月頃
祖谷のかずら橋架け替えの渡り初め	徳島森林管理署	3月頃
馬路村役場職員との「モリの勉強会」	安芸森林管理署	3月頃

新任者略歴紹介

森林整備部長

宮沢 一正



- 平成4年4月 林野庁指導部研究普及課採用
- 令和元年12月 東北森林管理局盛岡森林管理署長
- 令和5年4月 現職

企画調整課長

松尾 好高



- 平成24年4月 林野庁森林整備部計画課採用
- 令和2年4月 林野庁森林整備部計画課
国土強靱化推進官
- 令和5年4月 現職

徳島森林管理署長

尾山 真一



- 平成元年4月 高知営林管理局高知営林署事業課採用
- 令和3年4月 関東森林管理局計画保全部
小笠原諸島森林生態系保全センター所長
- 令和5年4月 現職

嶺北森林管理署長

榛田 力男



- 昭和58年4月 高知営林局野根営林署経営課採用
- 令和4年4月 四国森林管理局総務企画部
企画調整課監査官
- 令和5年4月 現職

